

令和6年度(2024年度) 島田市立島田第一中学校グランドデザイン



【国・県・市の教育方針】
 「自立・協働・創造」(第4期教育振興基本計画)
 「生きる力」の育成(学習指導要領)
 「有徳の人」の育成(静岡県教育振興基本計画)
 「夢育・地育」を核(島田市教育方針)

【生徒の実態：良さ(◎)や課題(△)】
 ◎素直にアドバイスを受け入れ、最後まで頑張る
 ◎行事やボランティア活動などに主体的に取り組む
 △意見を主張し、自分の考えで行動する
 △自己肯定感 △人との関わり方の幅



(年間授業日数201日 週時数29時間)

学校教育目標

自他を大切にし、夢に向かって挑戦する生徒

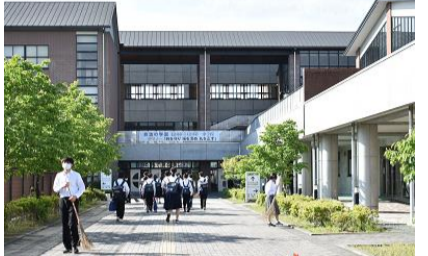
重点目標

「自ら判断し動く」

開校当時の校訓
自主・連帯・創造



煉瓦調のモダンな校舎



【一中マナー】 目指す生徒の姿

時を守り、場を清め、礼を正す ※島一中学区の小学校と連携しての取組み【森 信三氏の言葉を引用】
 (自分に関わって) 自分に対する信頼の気持ちを持つ・・・**獲得的幸福**
 (他者に関わって) 他者への信頼の気持ちを持つ・・・**協調的幸福**

経営の基本方針

- ・ 報告・連絡・相談を基本とし、チームで安全で安心できる学校をつくる
- ・ 生徒に寄り添い、一人一人の成長を支援する
- ・ 信頼される学校づくりに向けて、家庭・地域とのつながりを大切にする
- ・ 重点目標「自ら判断し動く」のもと、生徒の活動を教職員がサポートする
- ・ 教職員が研鑽を磨き、授業力を高め、自己の個性と専門性を発揮する

三つの側面からのアプローチし、主体的な活動を大切にします

1 「学び合い推進」

自ら考え、表現し、生きる力が身に付く学びの推進

- <授業改善の視点> 「生徒が主体となる学習」の推進
- <校内研修テーマ> 「生徒の主体性を育む授業づくり」
- ・ ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実
- ・ 自ら選択し主体的な学習への取組み(ｽﾌﾟﾙ・ｷｰﾋﾞﾝ等の活用)
- ・ 単元を通じた評価の推進と充実(単元を通じた授業づくり)
- ・ PBL型による系統的な総合的な学習の実施
- ・ キャリア教育、道徳教育の充実
- 【授業がわかる 90%】 【授業で自分の考えを言える 80%】
- 【課題解決に向けて、見通しをもって学習している 80%】
- 【自ら選択し、デジタル教材等を活用して学習している 80%】

2 「関わり合い推進」

より良い生活や人間関係の醸成

- <生徒会重点目標> 「connect」～みんなの思いで創る新時代～
- ・ 目的集団を柱とした集団づくり(縦割り活動の充実)
- ・ 生徒会活動を中心に、生徒の手による「主体的な活動」の実施
- ・ 人間関係づくりプログラムの計画的実践
- ・ 「良いところ見つけ」を通しての自己肯定感の向上
- ・ 特別活動の充実と文化事業や講話等の実施
- 【学校が楽しい 90%】
- 【人の役に立つ行動に取り組んだ 85%】
- 【行事等に協力して取り組む 90%】
- 【行事等において、自ら判断し動く場面があった 85%】

<生徒への関わり方の基本>

- ・ 「一人一人は、かけがえのない存在である」という前提
- ・ 「一人一人は違う、個に応じた対応をする」という視点
- ・ 「一人一人に寄り添って、成長を支援する」という構え

<生徒への指導・支援の基本>

生徒の良さや可能性を見だし、支援する + きちんと教え、間違いは正す
 (褒めて、認めて、励ます) (寄り添い、考えさせ、導く)

3 「支え合い推進」 豊かな心の育成

<指導の重点> 「個に寄り添った支援」の推進

- ・ 日常的に生徒の良い表れを価値付け、HPや学校便り等で知らせる→自己肯定感を高め、「自ら判断し行動する力」の育成
- ・ 時間を守り、良い環境をつくり、明るく爽やかなあいさつをする → 「一中マナー」の定着
- ・ ケース会議の充実と外部人材等との連携(SC、SSW等)
- ・ いじめ防止対策推進法を尊重した対応の推進(生活アンケートの年5回実施、いじめを考える学級会の年2回実施)
- ・ 教育相談・家庭訪問(1年希望者)の実施(深刻ないじめゼロ・個の居場所づくり)
- ・ 特別支援教育(インクルーシブ教育)の推進→ 交流活動の推進
- 【一中マナーの定着 95%】 【自分には良いところがある 80%】 【信頼できる先生がいる 85%】 【夢や憧れがある 80%】

学校経営の基盤

- 保護者・地域との連携
 - ・ コミュニティ・スクールによる学校の活性化
 - ・ 地域からの学び(総合的な学習の時間)の推進
 - ・ 学校HPを活用した、情報発信の充実
 - ・ 「防災教育」を生かし、地域で役立つ活動の充実
 - ・ 年2回の学校評価を実施し、PDCAサイクルでの改善
- 信頼される学校と教師集団
 - ・ 学年・学校全体で生徒を育てる組織体制(チーム一中：初期対応と組織対応)
 - ・ 笑顔と声が飛び交う教師集団
 - ・ 安全・学力・人権の保障
 - ・ 生徒、保護者に寄り添った対応
 - ・ 教師の専門性と指導力の向上

勤務環境改善

- ・ 勤務実態把握簿の活用
- ・ 市部活動ガイドラインの遵守
- ・ 会議の精選とペーパーレスの実施
- ・ 校務のデジタル化等
- ・ 見通しを持った職務の遂行による、心の負担の軽減